Asahikawa Dental Association
社団法人
旭川歯科医師会

旭川歯科医師会だより㊾

お口爽やかですか

テーマ　旭川市の幼児むし歯予防（フッ化物洗口）事業

フッ化物洗口を経験した児童が50％を超える5校は、全小学校55校に比べ、小学1年生で17倍もむし歯が少ない―　旭川市学校歯科健診結果

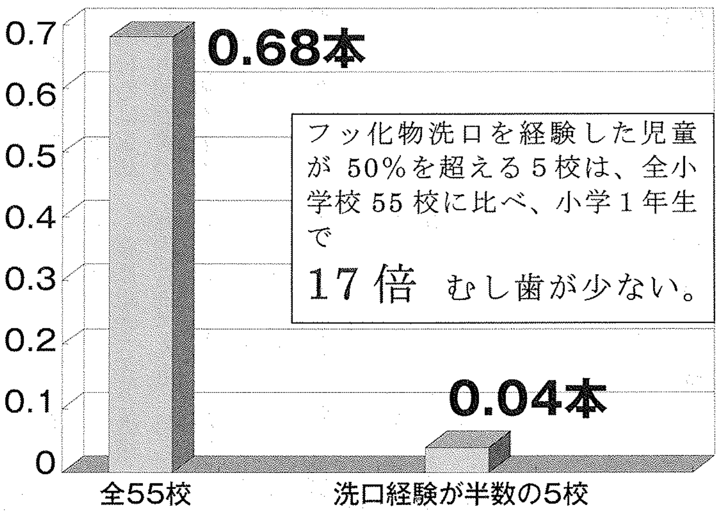
旭川市の幼児むし歯予防（フッ化物洗口）事業は、市の補助金事業として4、5、6歳児を対象に14年間にわたり実施されてきており、市の子どものむし歯の減少に大いに貢献しています。この事業のむし歯予防効果について報告いたします。

平成19年度の旭川市学校歯科健診結果と市内の幼稚園・保育所のアンケートから把握した小学進学動向を調べたところ、フッ化物洗口を経験した児童が多い小学校低学年で顕著にむし歯が少ない状況がわかりました。

平成19年度学校歯科健診結果によると、旭川市の小学校55校の1年生の1人当たりの永久歯むし歯の本数は0．68本でした。幼稚園・保育所でフッ化物洗口を経験している児童数が半分を占めている小学校は5校ありましたが、これらの5校においては、1年生の1人当たりの永久歯むし歯の本数は0．04本と極めて少ない数字でした。（下図参照）

14年間、延べ約168万回、事故・クレーム等は一切なし

また、フッ化物洗口を実施してきた14年間において、事故やクレーム等は一切ありませんでした。年平均約3000人が、年間約40回洗口を14年間実施したことになり、延べ約168万回であることを考えると、いかにフッ化物洗口は、安全・安心な公衆衛生事業であるかが分かります。

2008年3月の調査では、フッ化物洗口は全国において6433の施設で、約67万人に対して実施されています。今後とも、市の幼児のむし歯予防（フッ化物洗口）事業にご理解とご協力をお願いいたします。

旭川市小学校1年生
一人当たり平均の永久歯むし歯本数
平成19年度旭川市学校歯科健診結果